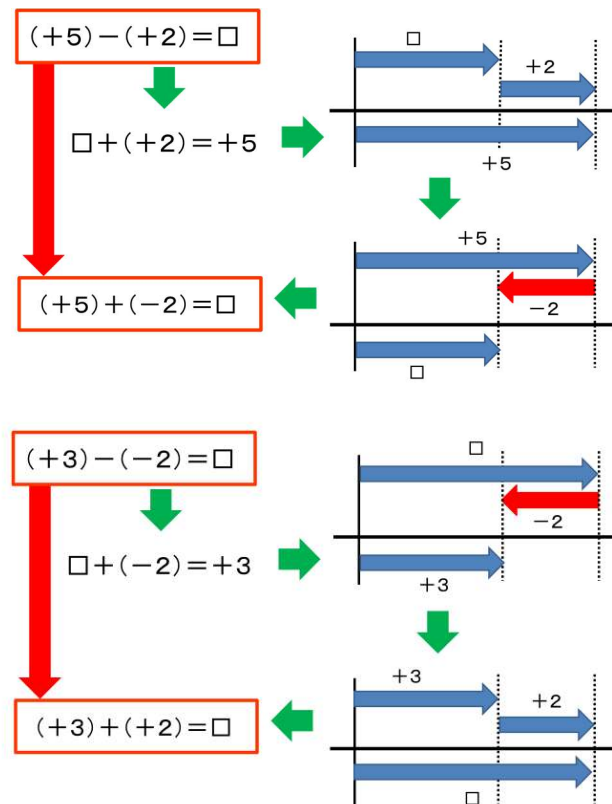


<群馬県教育委員会 オンラインサポート授業>  
 数 学 中学1年「正の数と負の数⑤ ～減法～」【要点資料】

<くめあて> 負の数に加わっても、今までと同じように減法（ひき算）ができるのだろうか。



$(+5) - (+2) = \square$   
 は、左図のように数直線を使って考えると  
 $(+5) + (-2) = \square$   
 という式に直しことができます。



$(+3) - (-2) = \square$   
 は、左図のように数直線を使って考えると  
 $(+3) + (+2) = \square$   
 という式に直しことができます。

つまり、減法は加法に直せます。その際に、ひく数の符号が変わります。

$$\begin{aligned}
 (+5) - (+2) &= (+5) + (-2) \\
 (+3) - (-2) &= (+3) + (+2)
 \end{aligned}$$



減法は加法に直すことで、  
 計算することができるんだね。



例

$$\begin{aligned}
 (1) \quad (+6) - (-4) &= (+6) + (+4) \\
 &= +10
 \end{aligned}$$

<まとめ> 正の数または、負の数をひくことは、その数の符号を変えて加えることと同じである。